



さいとぴあ美術展
Saitopia Art Exhibition

「さいとぴあ美術展」とは

毎日の暮らしに芸術を通じた少しの喜びを、
地域の人みんなで共有することを目指した展覧会です。

参加することはとても簡単。

世界的なアーティストを目指すもよし。

これまでの作品を披露するもよし。

この美術展をキッカケにしても大丈夫。

創る側にとっても観る側にとっても、
芸術を楽しむためにスタートした小さな機会です。

アーティスト

木村 陽子 / Yoko Kimura

徳永 昭夫 / Akio Tokunaga

村岡 和夫 / Yasuo Muraoka

柴田 みなみ / Minami Shibata

丹生 昇一 / Shoichi Niu

山口 美樹 / Miki Yamaguchi

鈴木 伸一 / Shinichi Suzuki

橋口 昌子 / Shoko Hashiguchi

山田 宏 / Hiroshi Yamada

竹園 満夫 / Mitsuo Takezono

藤浩志 / Hiroshi Fuji

山本 真実 / Mami Yamamoto



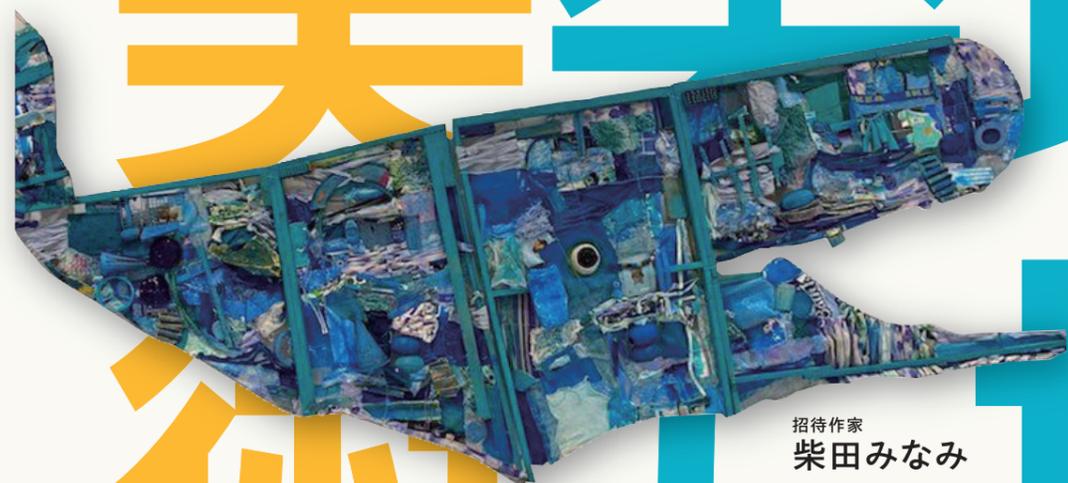
〒819-0367 福岡市西区西都 2-1-1

[TEL]092-807-8900 [MAIL]saitopia@saitopia.info [WEB]https://saitopia.info



【注意事項】
○作品保護のため、手を触れないようお願いいたします。 ○作品周辺では静かに鑑賞いただき、騒がないようご協力ください。 ○館内での飲食はご遠慮いただいております。
○写真撮影は可能ですが、フラッシュの使用は作品を傷める恐れがありますのでご遠慮ください。あわせて、個人情報保護のため、他の方が写り込まないようにご配慮ください。
○手荷物等が作品に触れないようご注意ください。 ○作品は自由にご鑑賞いただけます。 ○万が一、作品を破損された場合は、速やかに管理事務所までお知らせください。

美 楽 地 域 術 展 覧 会



招待作家
柴田みなみ



招待作家
藤浩志



2025 10月1日(水) - 26日(日)

福岡市西部地域交流センターさいとぴあ | 入場料無料

木村 陽子 鈴木 伸一 竹園 満夫 徳永 昭夫 丹生 昇一
橋口 昌子 村岡 和夫 山口 美樹 山田 宏 山本 真実

さいとぴあ美術展
Saitopia Art Exhibition

協賛



特定非営利活動法人
九州コミュニティ研究所

つながる なごなご

さいとぴあ美術展のテーマ

私たちは、地域交流センターを「人と人とのつながりを楽しむ場所」と位置づけ、スポーツや映画、環境、子ども向けイベント、祭りなど、さまざまな企画を展開してきました。そしてもうひとつ、長年あためてきたテーマが「美術」です。

多様なアーティストと地域の人々が出会い、つながる。そんな今までにないアートイベントを、ここから創り出していくことを目指してこのテーマにしました。

さいとぴあ美術展に関して

会期：2025年10月1日(水)ー10月26日(日)

会場：西部地域交流センターさいとぴあ(福岡市西区西都2-1-1)

募集期間：2024年12月1日(日)~2025年2月10日(月)

応募資格：福岡都市圏で活動されている地域住民の方(プロ・アマ問わず)

入選数：43名の応募者の中から、10作品を入選作品として展示

作品制作補助費：入選者に各5万円の授与

授与式：2025年9月28日(日)14:00~14:30 多目的ホールにて

主催：さいとぴあ美術展実行委員会

実行委員長より一言

地域交流センターが「人と人とのつながりを楽しむ場所」なら、美術展は「自分と自分がつながることを楽しむ場所」でもあります。現代社会を支配する言葉が一切ない世界だからこそ、誰にも命令されず、邪魔されずに、いつもは隠れている自分と出会うことができるのです。

こうした公募展が地域交流センターで開催されることは、美術とごく普通の日常が地続きになることも意味します。作品ひとつひとつが、日常と美術の地続き関係をざっくりと物語ってくれています。堅苦しい話はいりません。思いっきり感覚を開放してお楽しみください。



さいとぴあ美術展
実行委員長

中山 喜一郎

福岡市美術館
総館長

さいとぴあ美術展選定委員会(敬称略)

委員長	中山 喜一郎(福岡市美術館/総館長)
委員	羽野 暁(九州大学キャンパスライフ/特任准教授)
委員	赤池 成昭(西部校区自治協議会/顧問)
委員	橋口 勝吉(特定非営利活動法人九州コミュニティ研究所/理事)
委員	松竹 恵里子(西部地域交流センターさいとぴあ/館長)

さいとぴあ美術展の最新情報

<https://www.saitopia.info/art>



3-1

招待作家/現代美術作家

柴田 みなみ

「海ごみゼロアワード2021」環境大臣賞 受賞
大阪万博招待作家



福岡出身の廃材アーティスト・しばたみなみさんは、海岸で拾ったプラスチックごみ等を素材に、廃品に命を吹き込む「ORINASU スクラップでビルド」などの作品で環境問題を訴え、2021年には海ごみゼロアワード環境大臣賞を受賞しました。



2-1 山口 美樹 永遠なる創造・命/インスタレーション

2-2 徳永 昭夫 時代達の対話/インスタレーション

1-1 木村 陽子 洋種山牛蒡(インクベリー)/水彩画

鈴木 伸一 未来へとつながる/鉛筆画

竹園 満夫 渦潮/油彩画

橋口 昌子 絆/水彩画

村岡 和夫 黒磯/切絵

1-2 山本 真実 つながりたい/インスタレーション

1-3 山田 宏 黒釉線紋鉢「嵐雲」/陶芸

1-4 丹生 昇一 神楽の舞/写

1-5

招待作家/現代美術作家

藤 浩志

株式会社 藤スタジオ 代表
NPO法人 アーツセンターあきた理事長
美術家・秋田公立美術大学教授



1960年鹿児島生まれ。京都芸術大学修了後、国際協力や都市計画を経て、廃材やおもちゃを素材にした地域型美術プロジェクト「101匹のヤセ犬」「Jurassic Plastic」「Kaekko」などを展開し、現代社会や循環への対話を促す作家です。



3F



2F



1F

